

事業名称 (申請団体名)	補助事業区分	提案事業名	事業目的	結果	講評
喜志西小学校区まちづくり協議会	協働事業推進型	みんなとつながろう喜志西	人口減少や高齢化が進めば、人々のネットワーク力の低下、地域社会は、弱体化し崩壊してしまいます。そこで住民力を結集した広域的、多機能な組織づくりが必要である。担い手不足などにより単独では難しくなった活動を地域連携することによって効率的に事業を実施することができる。地域課題を共有し補完することで、振興発展を図り住み良い地域づくりを目指します。	採択	単位町会でなく、小学校区のまちづくり協議会で取り組んでいるところに意義があると考える。また、各イベントは地域住民の交流という点で評価できる。しかしながら、事業単独では採算が合っておらず繰越金が減っている点が懸念材料である。ここ5年を見越したターゲットとする対象や活動内容を明確にし、経済的自立におけるの工夫をお願いしたい。
すこやかネット明治池	自由テーマ型	「ふるさと明治池」ビルドアップ事業	すこやかネット明治池では、基本理念として ①「ふるさと明治池を合言葉に、誰からも愛される地域を目指す」 ②「地域とのかかわりの中から、自分に自信を待てる子や自他ともに愛せる子の育成をめざす」としている。またその理念をもとに2つのテーマを次の通り掲げている。 テーマ①;地域活動を通して顔と名前が一致する地域をめざし地域ネットワーク構築とその充実をはかる。 テーマ②;地域の子供たちが、地域活動を通して自分に自信を持ち、自他ともに愛せる子になる。そして、その理念とテーマの実現に向けた事業が「ふるさと明治池」ビルドアップ事業である。この「ふるさと明治池」ビルドアップ事業を展開することで、基本理念とそのテーマ目標の達成をねらい、より良い地域づくりを実現させることを目的とする。	採択	地域交流の試みや、事業の継続性が評価できる。今後は、期待できる効果について、効果を図る方法を構築されたい。また、事業としては重要かと思うが、交付金は年限が限られており、経済的自立におけるの工夫をお願いしたい。
とんだばやし観光会	自由テーマ型	「富田林を歩こう!～ええとこ富田林」のまち巡り全5回	まち巡りを通して、少しでも富田林の豊かな自然、古くからの町の歴史、多様な文化を体感していただいて、富田林の「ええとこ」を感じていただく。	採択	街歩きで富田林の魅力を知ってもらおうというのは意義のある事業である。今後も地域団体との交流協働を進めていただきたい。また、地元の名店を回るという企画も予定されており、産業振興や商業振興とも連動していただきたい。参加費を妥当な金額に設定するなど、経済的自立におけるの工夫をお願いしたい。
廿山秋友会	自由テーマ型	津々山総踊	「盆踊り」をきっかけに子供からお年寄りまで幅広い世代交流の場を提供し、地域のコミュニケーションの活性化につなげていきたい。すこやかネットを通じて校区全体に呼びかけ、地域の輪を広げていくための催しをめざす。	採択	地域の伝統を継続させようとしている点が評価できる。しかしながら、盆踊り、屋台、的屋など全体的に従来型の行事になっており、事業のオリジナリティや地域のまちづくりを引張る先駆性があり見られないのが残念です。従来の活動とどのような違いがあるのか、他地域のと差別化を明確にする等の工夫が必要と思われます。企画段階から多くの人が関われる仕掛けづくり、それを契機とした開かれたコミュニティづくりへつながるイベントを期待する。このイベントによって地域がどのように変わったかを評価してほしい。
フクチェン	学生活動応援型	フクチェン	金剛マルシェ等の地域住民が主体となって開催されているイベントで、古着の無料回収、販売を行いイベントの集客を増やし地域活性化、衣服の廃棄量削減などSDGs達成につなげていくことを目的とする。	採択	補助金込みで収支が黒字になっていることが懸念点であるが、SDGsとして古着交換を行う活動は評価できる。今後、活動の担い手をどうつないでいけるかがポイントかと思います。継続性については不安材料であり、自らが大学を卒業してもかわれる方法を見つけ、継続して事業が実施できるようにしてください。事業を行う中で、地域活性化へどのような効果があるかを常に意識してほしい。
筋肉健康会	スタートアップ型 (①起ち上げ支援)	筋力アップによる健康増進のまちづくり事業	①健康に関する知識の啓発・情報提供による健康寿命延伸 ②身近にできる筋トレを学び実践することによる市民の老化防止 ③高齢者に健康・運動指導のできる(高齢者とコミュニケーションができる)若者を養成→富田林の活性化 ④富田林独自の筋トレ体操の開発→まち自体の健康意識の増進 ⑤富田林における健康に特化した非営利法人の立上げ	採択	パソコン機器を購入するにあたり、筋トレを図る機器との連動などを考えておられるのであれば、もう少し企画を詰める必要があるのではないのでしょうか。また、どれだけ市民に広げていけるかが公益性の評価で重要だと思う。会員をどのように増やしていくか、具体的工夫が必要である。他の活動との差別化、役割分担も必要である。
筋肉健康会	スタートアップ型 (②自立支援)	筋力アップによる健康増進のまちづくり事業	①健康に関する知識の啓発・情報提供による健康寿命延伸 ②身近にできる筋トレを学び実践することによる市民の老化防止 ③高齢者に健康・運動指導のできる(高齢者とコミュニケーションができる)若者を養成→富田林の活性化 ④富田林独自の筋トレ体操の開発→まち自体の健康意識の増進 ⑤富田林における健康に特化した非営利法人の立上げ	採択	ユーチューブ動画との差別化で高齢者を対象としていることは理解できるが、同じような事業や若者対象の事業をされている他団体との差別化や役割分担、情報交換をおこなうような戦略があってはいいいのではないのでしょうか。交付金を契機により公益性を高め、会員を増やすための具体的な工夫が必要である。また、チラシをどのように配布するのか等、費用対効果も含めて検討してほしい。

事業名称 (申請団体名)	補助事業区分	提案事業名	事業目的	結果	講評
花唐草倶楽部	自由テーマ型	地域交流★移動ボードゲーム	ボードゲームを通じて市民の交流を促進し、世代を超えたコミュニケーションを深める事を目的とします。地域の公共施設を利用し、定期的なイベントを開催することで、市民同士の絆を強め、地域社会の活性化を図ります。	採択	オンラインゲームには対面性で差別化し、将棋や囲碁といった既存のボードゲームとは娯楽性の点で差別化しているものと理解できる。しかしながら、ボードゲームの期待できる効果についてはどこまで根拠があるのか分かりにくいことや、事業目的、内容をもう少し絞り込んだほうがいいのではないか。また、公共施設で実施する必要性に疑問が残る。事業を行う中で、広く市民への波及効果を検討してほしい。
富田林ほっこり会	自由テーマ型	障がい者家族に希望と勇気を与える事業	精神障がい者と家族への理解を全ての市民に広げ、相互理解を得ることを目的に講演会を開催	採択	障がい者支援ということで素晴らしい活動だと思われる。しかしながら、経済的自立に向けてより多くの会員、支援者を増やしていくことが重要である。参加者を増やすためには、精神障がい者をよく知らない人たちに知らせる、知ってもらう必要があると思います。是非、この講演会をアピールする工夫をお願いしたい。また、講演会という形でなく、意見交換会や体験しながら当事者とともに交流をもつ「場」があればと思います。公益性を考えると、精神障がい者と家族を超える「場」が必要です。
シリウス・ウィンド・バンド	自由テーマ型	吹奏楽 無料定期演奏会	多くの方に音楽(生の音)に触れ合う機会をもってもらう。市内の小・中学校や公的機関への告知で幅広い年齢層の方にきていただき、市民の皆様の交流を図る。団員の中に支援学校の教員がおり、障がいを持つ生徒さんたちが、音楽を奏でると身体を揺らしたり、手をたたいたり、足踏みをしたりと思ひ思ひの方法で、音楽を表現している姿を目にし、音楽の持つ力は素晴らしいと日々実感している。その素晴らしさを是非多くの人に伝えたい。シリウス独自の創造性により、子供の音楽離れを食い止める。主体性のある自主事業の実施。	採択	様々な人が関わるイベントをおこない、イベントを続けることで団員を増やすビジョンなどは評価できる。しかしながら、無料演奏会で今後の活動は持続可能かどうか、活動につながる目標値や目標を明確にされたい。交付金を契機により公益性を高め、経済的自立に進んでほしい。そのためには、市民に広げていくことが重要だと思う。
嬉ハウス	自由テーマ型	嬉ハウスの嬉しいイベント	活動(親子山登り、産後の親子サポートのピーアール、服の交換会など)を知ってもらうことで、市民の子育て世代の家族がよりよく過ごせる、楽しんでもらう、出会いの場となることを目的とする。	採択	子育て世代の母親が笑顔で活動できるというコンセプトが素晴らしい。しかしながら、運営会議のメンバーや実行主体のメンバーを増やすことを検討されたい。できれば、5年以降の目標値などを検討され、持続可能なまちづくりにつなげていただきたい。また、経済的自立における工夫をお願いしたい。
富田林自然農法根っ子の会	自由テーマ型	農とアートのまちづくり	安心安全な自然農法を広げる。 移住促進 オーガニック給食の推進	採択	農業とアートということで興味深い事業であり、農業塾などの写真を販売するということで事業の継続性は期待できる。しかしながら、農業塾を柱として事業目的や事業内容をより詳細に示していただく方が、期待できる効果が明確になるかと思います。地域の手仕事で文化をつくる、それを柱にしていけばどうか。
佐備盆おどり実行委員会	協働事業推進型	伝統引き継ぐ若者育成 魅力発見SABIまつり	地元の賑わいを継承する若者を支援する	採択	盆踊りがオモテに出てしまうと従来型の行事に見えてしまう。この事業の特徴は音頭取りを育成し、他地域の盆踊りにも波及させることで、夏祭りの開催に欠かせない「音頭取り」(農村地域で育った若者)に焦点を当てた活動という点は高く評価できます。また、育成した歌い手が地域の盆踊りに参加することで、集客を上げ事業を継続しうることも評価できる。この活動を通して、地域の各団体と協力体制を作りながら、「音頭取り」の育成を意識して、事業を実施してほしい。